



さいじょう

平成28年(2016)5月1日発行

第49号

市議会だより

発行/西条市議会 編集/市議会だより編集委員会 〒793-8601 愛媛県西条市明屋敷164 ☎(0897)52-1261

議会活性化特別委員会(平成28年2月12日開催)

法政大学常務理事(法学部教授)廣瀬克哉氏を招き、
議会基本条例の制定に関する意見交換を行いました。
(詳細は、10ページの特集記事を参照)



3月定例会

正副議長選挙・各常任委員会の委員の選任など

新たな議会構成決まる!

平成28年度当初予算(総額793億5,972万4千円)を可決

平成28年度補正予算(総額△6,637万2千円)を可決

平成27年度補正予算(総額46億4,860万6千円)を可決

◇目 次◇

正副議長挨拶……………2 P	特集記事
委員会構成など……………3 P	議会活性化特別委員会中間報告…10 P
発言通告・代表質問・質疑・一般質問・	審議結果・議案の賛否一覧……………11 P
委員会審査レポート……………4~9 P	人事案件・編集後記ほか……………12 P

3月定例会の会期日程

2月23日	本会議(提案説明)
24日~28日	休会
29日	本会議(代表質問)
3月1日	休会
2日	本会議(代表質問・質疑)
3日	本会議(一般質問)
4日	本会議(一般質問)
	議会運営委員会
5日・6日	休会
7日	総務委員会
8日	福祉文教委員会
9日	産業建設委員会
10日	休会
11日	臨海地域振興整備特別委員会
	水資源調査特別委員会
12日・13日	休会
14日	議会活性化特別委員会
15日~17日	休会
18日	議会運営委員会
	本会議(質疑・討論・表決)
19日~21日	休会
22日	本会議

3月定例会

平成28年第2回3月定例会は、2月23日に開会し、会期29日間をもって3月22日に閉会しました。

この間、市長提出の議案56件が審議され、3月18日に議案などの採決を行い、定例会最終日の3月22日には、議長及び副議長の選挙、常任委員会及び議会運営委員会の委員の選任など、議会の組織構成を行いました。



議長の選挙（本庁本館6階 本会議場）

堀江幸二議長
黒河紘一郎副議長
を選出



議長 堀江幸二



副議長 黒河紘一郎

正副議長就任挨拶

私も、3月定例会において西条市議会議長並びに副議長の重責を担うことになり、改めて身の引き締まる思いであります。

本市を取り巻く状況は、依然として厳しく、地域経済の活性化はもとより、目前に迫る超高齢社会への的確な対応や人口減少の克服、更には市民誰もが安全で安心して暮らすことができる災害に強いまちづくりは焦眉の急務であり、これらの課題解決に向けた取組は、まさに「待ったなし」の状況にあります。

こうした中、第2期西条市総合計画や西条市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、財政の健全化を図りながら、大局的な視点で各種の施策を計画的かつ積極的に展開していくことが今、強く求められております。

とりわけ、二元代表制の一翼を担う議会におきましては、多くの市民の声を反映した議事機関へと原点回帰を図り、充実した議会活動を通して、その存在意義を示す必要があります。そのためには、議会の監視・評価及び政策形成機能を更に充実させることが重要であり、議会の活性化に関する取組は、これを引き続き堅持し、よりいっそう推進して参りたいと考えております。

今後とも、市民の皆様の意見や思いに耳を傾け、鋭意取り組んで参りたいと考えておりますので、格別のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

正副議長退任挨拶

就任以来、大過なく重責を全うできましたことは、ひとえに皆様がたのご協力とご支援のたまものであり、深く感謝を申し上げます。

今後、この経験を生かし、議会の役割をしっかりと果たして参りたいと考えておりますので、何とぞご指導を賜りますようお願い申し上げます。



前副議長 西坂 壽



前議長 一色輝雄

新しい議会構成が決まりました

◎委員長 ○副委員長

総務委員会

●総務部、企画情報部、市民安全部、財務部、消防、会計管理者、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、固定資産評価審査委員会の所管に属する事項及び他の委員会に属さない事項の調査・審査を行います。
(委員10名)

 本藤 重一	 井上 浩二	 川又由美恵	 ○高橋 保	 ◎伊藤 新平
 藤田 節雄	 黒河紘一郎	 青野 貴司	 一色 輝雄	 越智 啓郎

福祉文教委員会

●保健福祉部、生活環境部、教育委員会の所管に属する事項の調査・審査を行います。
(委員9名)

 越智 俊幸	 坪井 剛	 御荘 秀樹	 ○高橋 章哲	 ◎西坂 壽
 伊藤 孝司	 武田 功	 堀江 幸二	 岡村 重治	

産業建設委員会

●産業経済部、農林水産部、建設部、施設管理部、農業委員会の所管に属する事項の調査・審査を行います。
(委員9名)

 行元 博	 佐伯 利彦	 藤井 武彦	 ○越智 絹恵	 ◎児玉 千春
 莚田 元近	 楠 學	 白坂 均	 一色 伸昭	

議会運営委員会

●議会運営、議会の会議規則、委員会に関する条例などに関する事項や議長の諮問に関する事項及び議会広報に関する事項について、調査・審査を行います。
(委員10名)

 白坂 均	 越智 俊幸	 佐伯 利彦	 ○越智 啓郎	 ◎坪井 剛
 莚田 元近	 伊藤 孝司	 楠 學	 一色 輝雄	 児玉 千春

特別委員会

●特別委員会委員の辞任に伴い、委員の補欠選任と委員長及び副委員長の互選を行いました。

臨海地域振興整備特別委員会

副委員長 西坂 壽
(補欠選任及び互選)
委員 一色 輝雄
(補欠選任)

水資源調査特別委員会

委員長 藤田 節雄
(互選)
委員 西坂 壽
(補欠選任)
委員 一色 輝雄
(補欠選任)

議会活性化特別委員会

委員 坪井 剛
(補欠選任)

地方創生特別委員会

副委員長 坪井 剛
(互選)
委員 一色 輝雄
(補欠選任)
委員 越智 絹恵
(補欠選任)

代表質問・議案質疑・一般質問発言通告

3月定例会では、2月29日及び3月2日から3月4日までの4日間、6会派の代表者が代表質問を、議員13名が議案質疑と一般質問を行いました。発言の要旨は、会派別に項目を整理し、4ページから9ページにかけて掲載しています。

会派等	質問者	質問項目	会派等	質問者	質問項目	
自民クラブ	壺田元近 代表	1 平成28年度施政方針及び当初予算について	西リベラル	越智啓郎 代表	1 平成28年度施政方針及び当初予算について	
	伊藤孝司 一般	1 フィールド大学構想の方向性について 2 債権管理の適正化に向けた取組について		御荘秀樹 質疑	1 管渠整備事業について 2 西条市特別会計条例等の一部を改正する条例について	
	坪井剛 質疑	1 法規管理費の内容と費用対効果について 2 エネルギーフォーラム開催事業について 3 東予ものづくり三市連携推進協議会について 4 地域公共交通活性化対策事業について 5 物産販売推進事業について	西条市民クラブ	岡村重治 代表	1 平成28年度施政方針及び当初予算について	
		佐伯利彦 質疑		1 「千の風になったあなたへ贈る手紙」募集事業について 2 偉人顕彰事業について		
	高橋保 一般	1 産業都市づくりについて	青風会	井上浩二 代表	1 平成28年度施政方針及び当初予算について	
新政クラブ	武田功 代表	1 平成28年度予算編成の基本的姿勢について 2 CLT（直交集成板）による林業の6次産業化の取組について 3 えひめ国体・えひめ大会開催に向けた取組について	会派に属さない議員	臼坂均 一般	1 庁内の組織体制の整備について 2 ひきこもり、ニートに対する支援について	
		越智俊幸 一般		1 消防・救急救助体制について	青野貴司 一般	1 5野党共同提出の「平和安全法制整備廃止法案」及び「国際平和支援法廃止法案」について 2 農事法人「たいよう農園」が取得した国有農地の油分の撤去について 3 伊方原発の再稼働について
		一色伸昭 一般		1 高齢者介護における2025年問題に対応できる地域包括ケアシステムの構築に向けた取組について	本藤重一 質疑	1 協働のまちづくり推進事業について 2 空家等対策事業について 3 西条市空家等対策審議会条例について
	藤井武彦 一般	1 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について 2 小中学校ICT教育推進事業について		一般		1 生活困窮者自立支援法について 2 就学援助制度について 3 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業について
	黒河紘一郎 代表	1 市長の施政方針について 2 市の経済、景気、雇用対策について 3 がん対策の更なる取組について 4 防災対策について		高橋章哲 質疑	1 庁舎本館の修繕計画について	
越智絹恵 一般	1 祖父母世代の孫育て応援について 2 子どもの学習支援等について 3 小・中学生の教育環境向上について	一般	1 市民生活課窓口での市民サービスの向上策について			
公明党西条市議員	黒河紘一郎 代表	1 市長の施政方針について 2 市の経済、景気、雇用対策について 3 がん対策の更なる取組について 4 防災対策について				
		越智絹恵 一般	1 祖父母世代の孫育て応援について 2 子どもの学習支援等について 3 小・中学生の教育環境向上について			

自民クラブ

代表質問

「選ばれるまち」となるための取組は？

問 本市が暮らしたいまち、魅力的な旅先、更には企業などの事業活動の場として、さまざまな主体から「選ばれるまち」となるための具休策を、今後、どのように打ち出していくのか。

答 本市は、総合6次産業都市の推進をはじめ、社会資本の整備や防災教育の充実、更には四国地方において地域経済を牽引し、防災や物流、産学官連携の拠点といった新たな役割を担いうるまちとして存在感を高めており、都市間競争における優位性を確保しているものと考えている。

平成28年度からは、地方創生の推進に向け、地域の仕事づくりを中心に重点的に取り組むとともに、子育てや教育環境の充実、生活環境の改善などの取組を進めることで、暮らしやすさの向上を図り、生活圏としての本市の魅力を外に発信していきたい。

今後も、さまざまな施策に創意工夫を持って取り組むことにより、企業活動を展開するにふさわしい地域として選ばれるまち、あらゆる人々から「住んでみたい」「住み続けたい」と思われ、選んでいただける最上のまちを目指したい。



選ばれるまちを目指して

一般質問

どう進める？
産学官協働のまちづくり

問

長年にわたり構築してきた信頼関係の下、フールド大学構想を通じ、東海大学をはじめとする大学や研究機関などとの協働によるまちづくりを進めてきたが、日経地方創生フォーラムの席上、東海大学学長が本市との取組に関し、「首長交代により地域創生の継続性が左右された苦い経験」と発言された事態をどのように受け止めているのか。

答

協定を締結する大学などとは、今後もフィールド大学事業の方針を受け継ぎ、アカデミックアドバイザー制度の創設などを通じ、ネットワークの維持・発展に努めるとともに、平成28年4月開館の西条市地域創生センターを核に、大学が持つ知見や研究の成果を市政に吹き込んでもらえるものと期待している。

東海大学とは、これまで以上に信頼関係を構築していくため、今後、あらゆる機会を捉えて話し合い、更に連携を深めたい。

どう取り組む？

債権管理の適正化

問

私債権に適用される督促事務手数料及び遅延損害金に係る減免については、どのように運用していくのか。また、水道料金に係る簿外管理債権については、地方自治法に基づく債権放棄として、平成28年3月定例会に当該議案が提出されるものと思っていたが、なぜ、提出しなかったのか。

答

督促事務手数料については、督促状発送に係る実費相当額について徴収するものであり、減免を行うことは考えていない。遅延損害金に関し、徴収不能と判断したものについては、平成28年4月施行の西条市債権管理条例第15条（免除）及び第16条（債権放棄）の規定に基づき、対応することとなる。

どう進める？

産業都市づくり

問1

平成23年に国から指定を受けた西条農業革新都市総合特区の計画期間が平成27年度で満了となり、継続申請は行わないとのことであるが、これまでに、どのような成果が上がっているのか。また、西条農業革新都市地域協議会では、どのような協議がなされたのか。

答

本特区では、農産物販売金額の増加や農業生産の低コスト化に係る各種の取組を推進し、成果として株式会社サンライズ西条加工センターの開設に至ったものの、目標値の達成度は想定よりも低水準な状況となった。

西条農業革新都市地域協議会では、地域活性化モデルケースの選定及び地域再生計画の認定により国からの支援が確保されていること、更に、TPP交渉が妥結した現在、地域が主体的に規制緩和に向け協議し、国に積極的に提案する時期ではないとの判断の下、今回の期間満了をもって終了するという結論に達した。

問2

四国経済を牽引する「総合6次産業都市」

推進計画認定から1年が経過するが、事業の進捗は、どのような状況か。また、平成27年度に総合6次産業都市推進会議を開催しないのは、どのような経過をたどり、そのようになったのか。

答

これまでにプロジェクトの中核的役割を果た



西条市地域創生センター開所式

す株式会社サンライズ西条加工センターを設立したほか、西条市地域創生センターの整備に国の支援策が活用できるようなするなど、一定の成果は見られるが、現時点では、目標数値に対する具体的な成果の検証は行っていない状況にある。

総合6次産業都市推進会議については、西条市地域創生センターの設立に向けた議論が進み、産学官連携事業を総合的に再編したことにより、平成27年度は、制度再設計の時期として会議の開催を見送った。平成28年度からは、西条市地域創生センターを核とした新たな組織を創設することとしている。



西条農業革新都市地域協議会の様子

どう取り組む？ 多子世帯・ひとり親世帯

支援

問 西条市まち・ひと・しごと創生総合戦略の実効性を高めるため、第3子以降の子どもを手厚く支援することで、出生率の向上につながるのではないかと考えるが、保育料や幼児教育、放課後児童クラブ、給食費について、多子世帯に対する支援にどう取り組んでいるのか。また、未婚のひとり親世帯に対する寡婦控除のみなし適用については、どう考えているのか。

答

本市の保育料は、児童福祉法の認可を受けた幼稚園及び保育園を同時に利用している小学校就学前の児童について、第2子を半額、第3子以降を無料としている。他市では、兄弟在園にかかわらず、保育料を軽減している事例も見られ、今後は、国の動向などを注視しながら、検討していきたい。

幼児教育については、幼稚園は小学3年生以下の兄弟がいる場合に、多子世帯に対し

て保育料の軽減措置を行うとともに、幼稚園就園奨励費補助金を増額している。しかし、世帯内の所得制限を設けず、かつ、第1子の上限も18歳未満としている自治体もあり、国も上限を小学3年生から引き上げる意向を示していることから、今後、国や愛媛県などの動向を見極め、研究、検討していきたい。

放課後児童クラブについては、多子世帯支援に係る国の財源措置は講じられていないが、平成27年度からの有料化に伴い、第2子以降の児童の保護者負担金を軽減している。給食費の第3子以降の無償化については、県内では実施されていないが、全国的には無償化や助成制度を導入している事例も見られることから、今後、子育て支援全体の中で、どのような施策が必要か検討していきたい。

寡婦控除のみなし適用については、先進地の取組を参考に、未婚のひとり親世帯であることが確認できる方法があれば、寡婦に該当するとみなし、保育料を軽減することを検討したい。

新政クラブ

代表質問

今後の財政運営の

考え方は？

問

昨今の厳しい財政状況が続く中、第2期西条市総合計画や西条市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた諸施策を実施することとなるが、今後の財政運営の見通しはどうか。

答

市税収入の好転が見込めない上に、普通交付税収入が減少する一方で、引き続き扶助費の増加が見込まれ、今後の財政運営は非常に厳しくなることが予想されることから、新たな財源の確保や、歳入に見合った予算規模に向けた歳出の削減が必要となる。

今後も、人口減少や少子・高齢化をはじめ、地域社会が直面する課題解決のため、財

政需要の増大や多様化が見込まれる。将来に過度な財政負担を残さないためにも、公債費を抑制するなど、歳入に見合った財政規模へ移行し、中長期的な視点から効率的かつ持続可能な財政運営を行っていきたい。

一般質問

どう考える？

消防・救急救助体制

問

平成26年度に実施した消防力適正配置調査の結果を踏まえ、消防力の現状や今後の対策について、どう考えているのか。

答

常備消防については、車両の更新整備や特別救助隊の編成に加え、消防力の脆弱性が懸念される地域への対応を進めるとともに、署所間の連携強化や出張所の機能強化が必要と考えている。

非常備消防については、施設や設備の効率的な更新、消防団の運営方法の検討、施設

や保有資器材などの平準化を推進するほか、団員の教育のために各種活動マニュアルの整備も進めていきたい。

どう取り組む？

高齢者介護における

2025年問題

問

団塊の世代が全て75歳に到達する2025年の超高齢社会の到来に向け、在宅医療・介護連携事業については、どう取り組んでいくのか。

答

医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい生活が送れるよう、在宅医療と介護を一体的に提供できる環境を整えることが重要であると認識している。

具体的な取組としては、平成19年度から介護職を対象とした研修会を継続して実施し、介護支援専門員のスキルアップを図っている。また、平成28年度には、地域の医療機関と介護保険事業所などのリストやマップを作成し、広く市民に活用していただけるよう準備を進めている。

今後の展開は？

小・中学校のICT教育

問

人口減少社会におけるICTの活用による教育の質の維持向上に係る実証事業は、今後、どのように展開していくのか。

答

本事業は、各教室に設置された電子黒板に加え、大型スクリーンとテレビ会議システムを設置し、2校合同で授業を行うことにより、小規模校における教育の質の維持向上を図るものである。

ICTを活用した合同授業は、過疎に悩む全国の地域にとって大きな可能性を秘めたものであり、事業の実施により、複式学級の解消はもとより、小規模校の子どもたちは多様な意見に触れ、学び合うことができるようになり、子どもたちの社会性、多様性、表現力を育むことができるという利点がある。

平成28年度は3教科以上、平成29年度は5教科以上で合同授業を実施する予定としている。

公明党

西条市議員

代表質問

どう取り組む？

「西条ブランド」の創出

問

「西条ブランド」の創出は、まちおこしや産業おこしのみならず、移住・定住にもつながるものと思われるが、今後、どのように取り組もうと考えているのか。

答

近年、インターネットの情報発信ツールは複雑化し、単に情報を集約するだけではじゅうぶんな効果が得がたく、専門性を有した企業との連携が必要である。

現在、地元マスメディアや大手広告代理店などと都市ブランド力の向上を目指し「西条市版地域創生コミュニケーションサイト」の構築に取り組んでいる。今後は、地域資源のみならず、体験やまちづくりへの参画などを通じた本

市のイメージ全般を付加価値と捉え、戦略的に「西条ブランド」を発信し、交流人口の増加を図っていきたい。

一般質問

祖父母手帳の活用は？

問

祖父母が孫育てをするメリットや昔と今の子育ての違いなどを掲載した祖父母手帳の活用について、どのように考えているのか。

答

平成26年に本市が実施した子ども・子育て支援に関するニーズ調査結果によると、子育てに日常的に祖父母が関わっている割合は33・7パーセントであった。

祖父母手帳は、祖父母世代が子育ての新しい知識を得て、社会全体で子どもを育てる意識づくりを進める有効な手段と考えており、今後、親世代・祖父母世代に対し、子育てに関する意識調査を実施し、ニーズを把握していきたい。

リベラル西条

代表質問

どう策定する？

公共施設等総合管理計画

問

公共施設等総合管理計画の策定に当たり、その目的や基本方針、更には市内の意思統一などについて、どのように考えているのか。

答

本市が保有する施設・建物は、平成26年度末現在で1千865棟、延床面積は約53万8千平方メートル、築後30年を超えるものが半数以上を占めており、今後、更新時期が集中する。更に、合併により、重複する施設があることや、社会情勢の変化などから「賢く使うこと」へと転換を図るため、平成28年度に公共施設等総合管理計画を策定することとしている。

計画の策定段階から全庁的な体制を構築し、職員全体で

情報共有を図り、より効果的・実践的な計画にするとともに、策定後は地域住民の意見も交えながら、今後の公共施設の在り方を検証していきたい。

議案質疑

西条市特別会計条例等の一部を改正する条例について

問題はないのか？

終末処分場の処理移管

問

飯岡処理場へ流入する汚水を平成27年度には公共下水道へ接続し、西条浄化センターで処理することとなるが、能力に問題はないか。

答

西条浄化センターの処理能力は一日の流入水量で3万1千500立方メートルである。同センターにおける一日当たりの平均流入水量は約2万8千980立方メートルで、飯岡処理場の一日当たりの平均流入水量約760立方メートルを加えても処理能力には余力があり、抜本的な設備能力の増強は必要ないと考えている。

西条市民 クラブ

代表質問

地域医療体制の充実を！

平成28年度一般会計予算

媛大学医学部による地域医療寄附講座に伴う診療支援など、あらゆる方策により医師確保に努め、国に対しても抜本的な対策を訴えていきたい。

議案質疑

問 地域医療体制の充実は、市民の安全・安心を確保する上で重要と考えるが、本市における救急医療の現状をどう認識し、今後、どのように取り組むのか。

答 平成27年には約4千700件の救急搬送があり、その半数以上が市内東部地域の二次救急病院へ搬送されている。搬送先が東部地域に集中し、二次医療機関の医師や医療スタッフの負担となっているため、東部・西部地域でバランスの取れた救急医療体制の構築が重要と考えている。救急医療体制の整備は、市民が安心して暮らせるまちづくりの柱であり、今後も医師確保奨学金の利用促進や、愛媛

郷土の偉人の生き方や業績を学び、郷土に誇りを持つことで、感謝の気持ちや愛着心が養われると考えるが、今後、偉人顕彰事業をどのように展開していくのか。

答 偉人顕彰事業は継続が重要であり、平成29年度以降も展示パネルを作成するほか、各小学校で行う学習活動と連携し、近藤篤山顕彰冊子に続く新たな顕彰冊子を作成したい。また、公民館活動の一環として、地域にゆかりの深い先人の掘り起こしにも取り組みたい。

青風会

代表質問

子どもを産み育てやすいまちづくりを！

内他市の状況も参考としながら、助成内容の見直しを検討していきたい。

一般質問

ひきこもり・ニートへの支援は？

問 子育て世代が住みたいと思うまち、移住してみたいと思うまちづくりについて、どう考えているのか。

答 子育て世代に安心して移住・定住していただくため、雇用の創出や福祉、教育などの政策を展開し、安心して子育てができる環境づくりに取り組んでいきたい。また、特定不妊治療費の助成を増額する考えはあるのか。

問 ひきこもりの原因は多くの要素が混在し、解消には長期的な対応が必要であり、有効な解決方法も確立されていないのが実情である。ひきこもりやニートに対し、具体的にどう支援していくのか。

答 ひきこもりについては、保健師が相談に応じ、相談後も、本人や家族への継続的な支援を実施している。また、ニートについては、就労支援員が関係機関と連携し、就職セミナーの案内を行うこととしている。平成28年4月からは「ひきこもり支援情報サイト」を開設し、当事者や家族が行き詰らないよう、広く情報提供に努めていきたい。

会派に 属さない議員

一般質問

平和安全法制 どう考える？

問 安倍内閣は、集団的自衛権は国際法上の権利であり、日本国憲法とも矛盾しないとして、平和安全法制整備法及び国際平和支援法は合憲だと主張している。また、自らの任期中に憲法「改正」を行い、海外派兵ができるようになすと言明しているが、これらの恐るべき事態をどのように受け止めているのか。

答 平和安全法制は、国際社会の平和と安全に貢献するための法整備であると認識している。また、戦争をしないことは国民の総意であり、その上で国の安全、国民の幸せ及び生命を守る議論を進める必要があると考えている。

どう取り組む？

就学援助制度

問

就学援助制度について、現在、本市ではどのように取り組んでいるのか。

答

本市においては、生活保護基準の1・3倍を就学援助として運用しており、対象となる児童・生徒には、学用品費や修学旅行費、通学費などを支援している。

また、本市における児童・生徒の要保護・準要保護率は、平成26年が9・8パーセントで、愛媛県内他市に比べ比較的高い状況となっている。

なお、制度の周知方法としては、市のホームページや子育て支援ハンドブックに掲載しているほか、学校だよりにも掲載するなど、きめ細かく周知を図っている。

どう進める？

窓口サービスの向上策

問

市民生活課窓口のフロアマナージャーの配置については、どのような検討がなされているのか。

答

また、待ち時間短縮のため、効果的なシステムを導入するなど、ハード面での対応も検討しているのか。

窓口体制については、人的に対応できない状況で、フロアマナージャーの配置は、窓口体制と合わせて検討することが必要との認識の下、当面は職員で対応したい。

ハード面については、人員体制やスペースの問題から、窓口増設などは難しいが、新庁舎移転後は、発券機の導入やアナウンス、モニター表示により、窓口への案内を分かりやすくするよう努めている。



市民生活課窓口の様子

常任委員会審査レポート

総務

本委員会では、付託議案19件、請願6件の計25件について、3月7日に現地調査の後、書面審査を行いました。

審査概要は、本会議で委員長報告を行い、採決の結果、議案19件は可決、請願4件は不採択、2件は継続審査となりました。



現地調査

福祉文教

本委員会では、付託議案18件、請願3件の計21件について、3月8日に現地調査の後、書面審査を行いました。

審査概要は、本会議で委員長報告を行い、採決の結果、議案18件は可決、請願3件は不採択となりました。



現地調査

産業建設

本委員会では、付託議案21件、請願2件の計23件について、3月9日に現地調査の後、書面審査を行いました。

審査概要は、本会議で委員長報告を行い、採決の結果、議案21件は可決、請願1件は不採択、1件は継続審査となりました。



現地調査

特集記事

議会活性化特別委員会

平成28年3月定例会第6日目の本会議において、西条市議会会議規則第45条第2項の規定に基づき、議会活性化特別委員会の調査中の事件について、平成27年12月定例会に引き続き2回目の「中間報告」がありました。

今回の特集記事は、地方自治法第100条の2の規定に基づく専門的知見の活用を中心に、その要旨を掲載しております。

報告の要旨



法政大学常務理事(法学部教授)廣瀬克哉氏

議会基本条例素案等を
検討する作業部会を設置！

作業部会は、議会活性化特別委員会の下部組織として議会基本条例の素案に関することや、条例制定後の諸規則の整理において、委員会の要請に応じ機動的かつ専門的に研究・討議を行うために設置されました。

部会は、3グループに編成し、第1回目の会議は平成28年2月9日にワークショップ形式で開催され、自由闊達な意見交換が行われました。



第1作業部会



第2作業部会



第3作業部会

議会基本条例の制定に係る
検討工程（予定）

- 平成28年4月 条例の成案期
先進市議会の視察
専門的知見の活用
執行部との調整など
- 7月 パブリックコメント
の実施
- 8月 条例成案の作成
- 9月定例会 条例案の提案

議会活性化特別委員会は、平成26年12月定例会で設置されて以来、平成28年3月までの間、計15回にわたり委員会を開催し、議会運営の検証及び議会の活性化に関する調査・研究を進めてきました。その中で、平成28年2月には、法政大学常務理事（法学部教授）廣瀬克哉氏から、議会基本条例素案について専門的かつ客観的な立場から意見をいただきました。

その要旨としては、まず、北海道栗山町が平成18年5月に全国に先駆けて議会基本条例を制定して以来、10年間にわたる全国の議会改革の動きに触れられ、議会という機関がある限り、そこには常に改

革が存在しうるということでありました。

また、議会の役割、まちの特徴を分かりやすい言葉で住民に発する条例の「前文」の重要性についてや、議会基本条例なくして改革はできないのか、条例でなければできない改革項目は何かなどについて説明がなされた後、自由闊達な討論により論点を発見し、多角的な視点から議論することによって偏りを補正し、議論の場を公開することで、慎重な判断を行う合議体を形成することが重要であるため、条例には、議員間討議や一問一答方式の導入といった手法を規定する必要があるとのことでした。

更に、新たな活動理念として、会派や公聴会・参考人制度の活用、政務活動費の目的議会事務局の強化などを位置付けることによって、議会制度の活用の意義が明確に示されることの考えが述べられました。

なお、委員会においては、現在、左の表中に示す工程に従い検討しておりますが、単に、制定すること自体が目的であってはならず、しかも内容は、理想でなく現実に対応したものとし、運用・実践面に重点を置いて、条例を設計することが重要であると認識しており、今後も引き続き、実りある形で議論を重ねて参りたいと考えております。

3月定例会における議案等の審議結果

議案等番号	件名	議決結果	議案等番号	件名	議決結果	
議案第4号	平成27年度西条市一般会計補正予算(第9回)について	原案可決	議案第36号	市道路線の変更について	原案可決	
議案第5号	平成27年度西条市国民健康保険特別会計補正予算(第4回)について		議案第37号	公有水面の埋立てについて		
議案第6号	平成27年度西条市介護保険特別会計補正予算(第4回)について		議案第38号	西条市行政不服審査会条例について		
議案第7号	平成27年度西条市簡易水道事業特別会計補正予算(第3回)について		議案第39号	西条市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例について		
議案第8号	平成27年度西条市公共下水道事業特別会計補正予算(第4回)について		議案第40号	西条市農業委員会農地利用最適化推進委員の定数を定める条例について		
議案第9号	平成27年度西条市港湾上屋事業特別会計補正予算(第1回)について		議案第41号	西条市空家等対策審議会条例について		
議案第10号	平成27年度西条市ひうち地域振興整備事業特別会計補正予算(第4回)について		議案第42号	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について		
議案第11号	平成27年度西条市小松地域交流事業特別会計補正予算(第2回)について		議案第43号	西条市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例及び西条市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について		
議案第12号	平成27年度西条市壬生川財産区特別会計補正予算(第1回)について		議案第44号	西条市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例について		
議案第13号	平成27年度西条市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第2回)について		議案第45号	西条市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について		
議案第14号	平成28年度西条市一般会計予算について		議案第46号	西条市特別会計条例等の一部を改正する条例について		
議案第15号	平成28年度西条市国民健康保険特別会計予算について		議案第47号	西条市税条例の一部を改正する条例について		
議案第16号	平成28年度西条市介護保険特別会計予算について		議案第48号	西条市手数料条例の一部を改正する条例について		
議案第17号	平成28年度西条市簡易水道事業特別会計予算について		議案第49号	西条市子ども医療費助成条例の一部を改正する条例について		
議案第18号	平成28年度西条市公共下水道事業特別会計予算について		議案第50号	西条市農業委員会条例の一部を改正する条例について		
議案第19号	平成28年度西条市小規模下水道事業特別会計予算について		議案第51号	西条市建築審査会条例の一部を改正する条例について		
議案第20号	平成28年度西条市港湾上屋事業特別会計予算について		議案第52号	西条市火災予防条例の一部を改正する条例について		
議案第21号	平成28年度西条市ひうち地域振興整備事業特別会計予算について		議案第53号	西条市勤労者福祉基金条例を廃止する条例について		
議案第22号	平成28年度西条市土地開発事業特別会計予算について		議案第54号	平成27年度西条市一般会計補正予算(第10回)について		
議案第23号	平成28年度西条市小松地域交流事業特別会計予算について		議案第55号	平成27年度西条市公共下水道事業特別会計補正予算(第5回)について		
議案第24号	平成28年度西条市本谷温泉事業特別会計予算について		議案第56号	平成28年度西条市一般会計補正予算(第1回)について		
議案第25号	平成28年度西条市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算について		議案第57号	職員懲戒審査委員会委員の任命について		同意
議案第26号	平成28年度西条市畑地かん水事業特別会計予算について		議案第58号	西条市壬生川財産区管理委員の任命について		異議なし
議案第27号	平成28年度西条市庄内財産区特別会計予算について		議案第59号	人権擁護委員候補者の推薦について		投票
議案第28号	平成28年度西条市壬生川財産区特別会計予算について		選挙第1号	西条市議会議長の選挙について		議長指名
議案第29号	平成28年度西条市後期高齢者医療保険特別会計予算について		選挙第2号	西条市議会副議長の選挙について		議長指名
議案第30号	平成28年度西条市水道事業会計予算について		選任第1号	西条市議会常任委員会委員の選任について		原案可決
議案第31号	平成28年度西条市病院事業会計予算について		選任第2号	西条市議会議会運営委員会委員の選任について		議長指名
議案第32号	西ひうち埋立整備工事委託に関する協定の締結について			各常任委員会及び議会運営委員会所管事務調査事項の決定について		
議案第33号	団体営基盤整備促進事業(神戸西部地区)に伴う予讃線伊予西条・石鎚山間龍華橋りょう改良工事委託に関する変更協定の締結について		選任第3号	西条市議会臨海地域振興整備特別委員会委員の補欠選任について		
議案第34号	市道路線の認定について		選任第4号	西条市議会水資源調査特別委員会委員の補欠選任について		
議案第35号	市道路線の変更について		選任第5号	西条市議会議会活性化特別委員会委員の補欠選任について		
			選任第6号	西条市議会地方創生特別委員会委員の補欠選任について		

議員別 議案賛否一覧表

上表は、議案などの審議結果であります。下表には、賛否が分かれた議案のみ賛否状況を掲載しています。(現議員数28名)

議案 (賛成：反対)	議員名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	23	24	25	26	27	28	29	30
		藤井武彦	川又由美恵	井上浩二	高橋章彦	佐伯利彦	御荘秀樹	高橋保	坪井剛	西坂壽博	行元博	一色伸昭	越智俊幸	白坂重均	本岡重治	岡村啓郎	越智玉春	児玉千輝	一色輝雄	伊藤新平	堀江幸二	武田功	青野貴司	越智絹恵	黒河紘一郎	楠学	藤田節雄	伊藤孝司	莚田元近
議案第4号	26：1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	26：1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	26：1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	26：1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	26：1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	26：1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	26：1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	26：1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	26：1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号	26：1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	26：1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号	26：1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	26：1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○：議案に対して賛成 ×：議案に対して反対 ※ 一色輝雄議員は、議長職のため表決に加っていません。

職員懲戒審査

委員会委員の任命

職員懲戒審査委員会委員に、東元道明氏を任命することに同意しました。

西条市壬生川財産区

管理委員の任命

壬生川財産区管理委員に、日和佐昭彦氏を任命することに同意しました。

人権擁護委員

候補者の推薦

人権擁護委員候補者に、瀬良達史氏を推薦することに異議のないものとなりました。

請願

3月定例会では、11件の請願が各委員会で審査され、本会議における採決の結果、不採択8件、継続審査3件となりました。



2月臨時会

2月5日開催の2月臨時会では、閉会中の継続審査となつておりました議案2件について、各委員会から閉会中の委員会審査に係る委員長報告を行った後、議案5件の審議を行いました。

審議の結果は、次のとおりです。

原案可決

◇議案第115号 西条市債権管
理条例について

原案可決

◇議案第122号 西条市市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例について

承認

◇議案第1号 西条市税条例の一部を改正する条例の一部について

承認

◇議案第2号 西条市国民健康保険税条例の一部を改正する条例を廃止する条例の専決処分について

原案可決

◇議案第3号 平成27年度西条市一般会計補正予算（第8回）について

本会議を傍聴してみませんか？

市役所庁舎本館7階の本会議場傍聴席で、本会議の様子を傍聴することができます。傍聴されるかたは、本館エレベータで7階に上がり、受付後、傍聴席にお入りください。

会議録を公開しています

議会だよりは、紙面の都合上、本会議の概要を掲載しており、詳細な審議の状況など、全てをお知らせすることはできません。

インターネット議会中継を実施しています

西条市議会では、市民に開かれた議会を目指し、また、迅速でタイムリーな市政情報の提供などを行うため、平成26年6月定例会から、本会議のインターネット中継を実施しています。

議会中継

西条市議会では、本会議の様態をインターネットで映像配信しています。



議会中継ホームページ

編集後記

木々もすっかり芽吹き、新緑の葉が茂る季節となりました。

本号から新しい編集委員会による編集となりました。

委員一同、意を新たに市民の皆様にも親しまれる「さいじょう市議会だより」の発刊に心がけて参ります。

これまで同様、ご愛読いただきますようお願い申し上げます。

ご意見、ご感想をお待ちしております。



市議会だより編集委員会

- 委員長 坪井 剛
- 副委員長 越智 啓郎
- 委員 佐伯 利彦
- 越智 俊幸
- 白坂 均
- 児玉 千春
- 一色 輝
- 楠 雄
- 伊藤 孝
- 近司 学